

# 2026 中国地方の 運輸・観光行政

～「利用者目線で、地域に密着する中国運輸局」を目指して～



国土交通省 中国運輸局



# はじめに

中国運輸局は、①輸送の安全・安心の確保、②地域公共交通の確保・活性化、③観光による地域振興、④地域経済を支える産業振興の4つの使命とし、運輸・観光に係る施策を総合的に進めています。

## 1. 輸送の安全・安心の確保

安全・安心の確保は運輸行政の根幹であり、最大の使命です。令和4年4月の知床半島沖の旅客船沈没事故や大型車両の車輪脱落事故、雪道等における事故や飲酒による事故などの発生を踏まえ、引続き、運輸安全マネジメント評価、各種規制、監査等を通じて、輸送の安全・安心の一層の向上を図っています。

## 2. 地域公共交通の確保・活性化

少子高齢化や人口減少に伴う利用者減少と運転者等の人手不足がともに顕在化しており、地域公共交通の維持が大きな課題となっています。JR芸備線においては、芸備線再構築協議会を開催し、まちづくりや観光振興の観点も踏まえながら、利便性や持続可能性の高い公共交通の実現に向けた最適な交通モードの在り方に関する議論を進めています。また、令和9年度までに交通空白解消を目指し、共同化・協業化を推進しつつ、デマンド交通やライドシェアなどの導入に向けて、自治体・事業者への伴走支援を実施しています。交通DXでは、自動運転バスや自動運航船の商用化に向け、技術開発の支援や安全性の確認を行っています。

## 3. 観光による地域振興

観光は地域経済の成長戦略の柱です。中国地方の魅力を活かしたコンテンツ造成や高付加価値化に向けた取組により、持続可能な観光地域づくりを推進しています。インバウンド誘客に向けては、せとうち観光推進機構や山陰インバウンド機構といった広域観光地域づくり法人（広域DMO）、中国地域観光推進協議会等の関係者と連携し、周遊ルートの造成や魅力的な観光資源の情報発信を行い、広域周遊を促進しています。特に、自然・文化・アクティビティを組み合わせた「アドベンチャーツーリズム」の促進に注力しており、DMOや自治体と連携した商品開発力の向上により地域経済の活性化につなげていきます。一方、観光需要回復に伴うオーバーツーリズムも課題となっており、その未然防止・抑制対策として、宮島や松江城周辺の渋滞対策や公共交通でのマナー啓発を実施しています。

## 4. 地域経済を支える産業振興

中国地方は造船業や船用工業など海事産業の一大集積地であるほか、運輸・観光産業が地域の経済や雇用に大きく貢献していますが、少子高齢化やコロナ禍に伴う離職等により、担い手不足が運輸・観光産業共通の課題となっています。その対策としては、運賃改定認可の迅速化、退職予定自衛官や学生への陸・海の運輸業界及び観光業界の魅力発信、職業体験や就職相談会を実施しています。その中でも、物流分野では、法改正や税制変更に対応した荷主・事業者への説明やトラック・物流Gメンによる「荷主等パトロール」を継続して行っています。また、環境面では、2050年カーボンニュートラル実現に向け、モーダルシフト、省エネ船の開発・普及の推進、既存船の省エネや省CO<sub>2</sub>の取組支援、ゼロエミッション船やEVバス導入支援を継続しています。

本冊子では、多岐にわたる中国運輸局の業務を紹介しています。皆様に中国運輸局を深く理解していただくきっかけになれば幸いです。

### 中国運輸局 4つの使命



#### 【表紙写真解説】

- ・左上：車椅子リフト付出雲空港リムジンバス
- ・左中：宮島ロープウェイと瀬戸内海の多島美
- ・左下：倉吉市のグリーンスローモビリティ

- ・右上：広島駅への路面電車乗入れ
- ・右中：夜の俵山温泉
- ・右下：自動運航船（おりんぴあどりーむせと）の実証実験

# 中国運輸局の組織と主な業務内容

## 総務部

運輸防災調整官……………交通の安全確保・交通に関する防災、危機管理  
 総務課……………情報公開受付窓口、局の総合調整  
 広報対策官……………行政情報の提供・公開、広報関係  
 人事課……………職員の人事・給与、福利厚生  
 会計課……………予算の要求・執行・決算、物品・国有財産の管理  
 安全防災・危機管理課……………交通の安全確保・交通に関する防災、危機管理

## 交通政策部

交通企画課……………交通政策基本計画の推進、公共交通活性化の推進、その他交通政策全般  
 環境・物流課……………地域交通環境政策及び物流政策の推進、倉庫業の登録・指導監督  
 共生社会推進課……………共生社会に関する施策の推進、行政相談窓口、公共交通事故被害者支援

## 観光部

観光企画課……………観光部の総合調整、旅行業等の指導・監督  
 国際観光課……………国際観光の振興施策（外国人観光旅客の誘致）の推進  
 観光地域振興課……………地域の振興に資する観光の振興施策（受入環境の整備等）の推進

## 鉄道部

地方鉄道再構築推進調整官……………鉄道に係る交通手段の再構築に関する企画・立案・調整  
 計画課……………鉄道輸送サービスの向上  
 技術・防災課……………鉄道・ロープウェイ・リフトの施設の安全確保  
 安全指導課……………鉄道・ロープウェイ・リフトの事故防止対策の推進、運転免許  
 鉄道安全監査官……………鉄道・ロープウェイ・リフトの保安監査

## 自動車交通部

旅客第一課……………バスの安全確保とサービス向上  
 旅客第二課……………タクシーの安全確保とサービス向上  
 貨物課……………貨物運送等のサービス充実  
 自動車監査官……………運送事業者の安全運行確保のための指導・監査

## 自動車技術安全部

管理課……………自動車の登録  
 整備・保安課……………定期点検整備の推進及び整備事業者の指導・監督  
 技術課……………車両の安全確保  
 保安・環境調整官……………公害防止、環境保全に関する指導推進及び自動車の事故防止

## 海事振興部

離島航路活性化調整官……………離島航路の再編・運営改革  
 旅客課……………旅客船、フェリー輸送のサービス向上  
 貨物・港運課……………内航海運、港湾運送による物流サービス向上  
 船舶産業課……………造船・船用工業などの海事産業振興の推進  
 船員労政課……………船員の職業紹介、雇用保険、最低賃金、人材育成

## 海上安全環境部

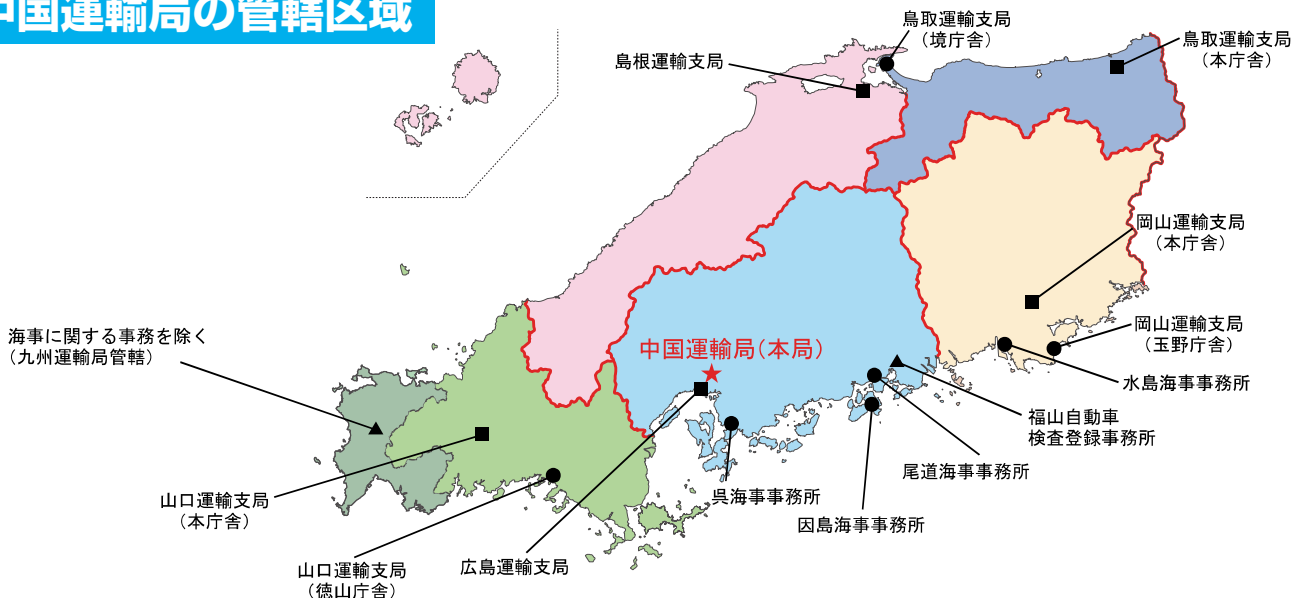
海事保安・事故対策調整官……………船舶の保安、船舶の事故による損害賠償保障に関する調整  
 船舶安全環境課……………船舶の安全確保と海洋汚染防止、油濁損害賠償保障  
 船員労働環境・海技資格課……………船員の災害防止及び安全衛生、海技試験、海技免状、船舶保安検査  
 運航労務監理官……………旅客船等の安全運航確保、船員の労働条件確保  
 海事技術専門官（船舶検査官）……………船舶検査、船舶保安検査  
 海事技術専門官（船舶測度官）……………船舶のトン数測度  
 海技試験官……………海技士国家試験  
 外国船舶監督官……………外国船舶の監督

運輸支局（広島・鳥取・島根・岡山・山口）  
 運輸支局分庁舎（境・玉野・徳山）  
 自動車検査登録事務所（福山）  
 海事事務所（尾道・因島・呉・水島）

### 《運輸支局等の主な業務》

- 地域交通・観光行政に関する施策の推進、相談案内
- 自動車運送事業に関する業務
- 自動車整備事業に関する業務
- 海上運送事業、港湾運送事業及び倉庫業に関する業務
- 船舶の検査、トン数の測度及び登録に関する業務
- 船員の労働条件の確保及び災害防止に関する業務
- 船員の職業紹介、雇用保険基本手当等の支給に関する業務
- 海技免状に関する業務
- 自動車の検査・登録に関する業務
- 自動車事故及び公害防止に関する業務

# 中国運輸局の管轄区域



# 中国運輸局の最新のトピックス

## 交通空白の解消に向けた取組



中国地方では、人口減少や高齢化が進む中で、買物、医療、教育など様々な日常サービスを支える地域交通の必要性はますます高まっています。一方で、地域鉄道・バスの減便・廃止や運転者の不足により、地域交通は危機的な状況ですが、地域交通は地方創生の基盤であり、「交通空白」はあらゆる地域で待ったなしの課題です。

国土交通省では、大臣を本部長とする「交通空白」解消本部を立ち上げるとともに、令和7～9年度を「交通空白解消・集中対策期間」として位置づけ、「地域の足」・「観光の足」の確保に強力に取り組んでいるところです。また、お困りごとを抱える自治体・交通事業者と、様々な資源をもつ幅広い分野の企業・団体群の連携・協働体制を構築するべく、交通空白解消・官民連携プラットフォームを発足させています。

中国地方では、交通空白リストアップ調査において、地域の足は185地区、観光の足は44地点の交通空白が抽出されたところ。中国運輸局では、管内の交通空白を解消していくため、首長等を直接訪問した上で、予算も活用しつつ、デマンド交通や公共・日本版ライドシェアなど、地域の実情に応じた移動手段の導入に向けて伴走支援を進めています。



住民が運転する公共ライドシェアの導入による地域の足の確保（山口県宇部市）



クルーズ船の寄港にあわせて運行される日本版ライドシェア（鳥取県境港市）



郊外部におけるバス路線新設による交通空白の解消（岡山県岡山市）



「交通空白」解消・官民連携プラットフォームにおける自治体・交通事業者とパートナー企業のマッチングイベント

## 2030年に懸念される輸送力不足への対応

### ◆概要と政府全体の対策

トラックドライバーの高齢化及び担い手不足から、何も対策を講じなければ、2030年には輸送力が約34%（9億トン相当）不足するという調査結果が出ています。

政府は法律により、トラックドライバーの時間外労働上限規制を施行し、荷主・物流事業者等に対し、政府が策定した判断基準に基づき、物流効率化を行う努力義務を課しています。

令和8年4月1日からは、一定規模以上の荷主・物流事業者（特定事業者）に物流効率化に向けた中長期計画策定、定期報告を義務付けるほか、特定荷主には物流統括管理者を選任する義務を課すこととしています。

### ◆中国運輸局の代表的な取組

長時間の荷待ち等の荷主起因による違反原因行為に対応するため、「トラック・物流Gメン」を設置し、積極的に活動しています。

特に、中国運輸局が始めた「荷主等パトロール」は、全国に波及しています。2025年10月には、中国運輸局の呼びかけにより、全国のGメンが大消費地である東京に参集し、荷主等に対する大規模な合同パトロールを行いました。

中国運輸局管内においても、支局Gメンによる合同パトロールが活発に行われており、トラック業界から評価をいただいています。



Gメン合同荷主パトロールの様子

## 芸備線再構築協議会

岡山県と広島県をつなぐJR芸備線は、大量輸送機関としての鉄道の特性を發揮できていない状況です。このような中、令和5年10月に、JR西日本から備中神代～備後庄原間において再構築協議会を設置するよう要請があり、令和6年1月に中国運輸局を事務局とする芸備線再構築協議会の設置を決定し、同年3月からこれまで6回の協議会、8回の幹事会を開催して、持続可能な交通体系の在り方について議論を続けているところです。

令和7年度においては、鉄道の経済効果を検証するため、列車の増便やタイヤ変更、列車のコンテンツ化など、鉄道に関する実証事業を実施しました。3年目を迎える令和8年度においては、鉄道以外の交通モードの経済効果を検証するため、沿線地域における日常利用・観光利用向けのバスの実証運行やツアー造成など、バスに関する実証事業を実施した上で、鉄道とバスの経済効果比較を中心に最適な交通モードについて議論し、芸備線の再構築方針案について検討することとしています。

今後も、芸備線再構築協議会では、まちづくりや観光振興の観点も踏まえて、特定区間における最適な交通モードや利用者利便の確保に向けて関係者等との議論を進めていながら、再構築方針の作成を目指すこととしています。



芸備線 庄原さとやまトレイン

## 自動運転の推進による持続可能な交通の実現

### ◆バスの自動運転実証実験

自動運転は、バス事業者が直面するドライバー不足の課題解消や、地域における移動手段確保に資するものであり、早期の普及・拡大が期待されております。令和7年度、中国運輸局管内では、地域コミッティによる関係者間の綿密な連携体制を構築し、8市町村で自動運転バスの実証運行が行われました。今後も、このような取組を支援し、実証から事業化への移行を推進します。



自動運転バスによる実証運行  
(上:鳥取県米子市 下:岡山県津山市)

### ◆船の自動運航システムによる運航開始

国土交通省では、自動運航船の2030年頃までの本格的な商用運航の実現に向けて、「自動運航船検討会」での議論を踏まえ、令和7年6月に自動運航船の安全基準を策定しました。同検討会では、これら自動運航船の実証運航を通じて、船員の労働負担の変化を検証していくこととしています。

中国運輸局では、令和7年12月に、船舶に搭載された自動運航システムの安全性を確認し、我が国初となる船舶検査証書を交付しました。



HANARIA  
(画像提供:本瓦造船)

## 内航海運のカーボンニュートラルへの対応

我が国は2020年に「カーボンニュートラル」を宣言しており、運輸部門も含め国内の様々な分野でCO<sub>2</sub>排出ゼロに向けた取組が進められています。内航海運の分野でも「更なる省エネの推進」及び代替燃料の活用等に向けた「先進的な取組の支援」が重要との方向性が示され、中国運輸局管内でも造船・船用事業者を中心に様々な先進的な取組が進められています。

最近の具体的な成果としては、令和6年3月に本瓦造船(広島県福山市)で建造された国内初の水素燃料旅客船「HANARIA」が、令和7年6月に「シップ・オブ・ザ・イヤー2024」と「マリンエンジニアリング・オブ・ザ・イヤー2024」に選定され、両賞史上初となるダブル受賞を果たしました。本船は、水素燃料電池、リチウムイオンバッテリー、バイオディーゼル燃料から動作モードを選択して航行できる世界でも例のないシステムとなっており、化石燃料と比較して53%~100%のCO<sub>2</sub>排出削減を実現しています。さらに、令和7年10月には常石造船(広島県福山市)がタグボートでは国内初となる水素燃料タグボート「天歐(てんおう)」を建造しました。本船は、水素とA重油を混焼させ、化石燃料のみの使用に比べ約60%のCO<sub>2</sub>排出削減を達成しています。

中国運輸局は今後も、新しい技術を活用した船舶やエンジンの安全検査の実施、国の政策ツールの紹介などを通じてこうした取組を支援していきます。

## アドベンチャーツーリズムの推進

中国地方の多様な自然や文化、暮らしを深く体感できるアドベンチャーツーリズム(AT)の推進に向け、地域の魅力を的確に伝え、質の高い体験を提供できるガイドの育成に取り組んでいます。また、AT事業者・自治体・DMOを繋ぐセミナーやキャラバンを実施し、ネットワーク構築と情報共有を促進するとともに、地域横断のモデルプラン策定や、今後のAT推進の指針となる中国地方独自のATビジョンの検討も進め、観光地単体にとどまらず、地域全体で新たな観光価値を創出できる仕組みづくりに取り組んでいます。

これらの活動を通じて、持続可能な地域づくりと継続的な誘客、旅行消費額の拡大を目指していきます。



大山町甲川シャワークライミング

# 輸送の安全・安心の確保

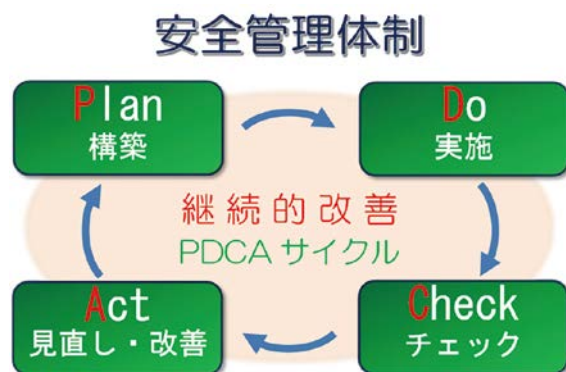
日々の輸送の安全・安心の確保は、中国運輸局の最大の使命です。誰もが安全で安心して利用できる交通環境を確保するため、様々な取組を行っています。

## 運送事業者の安全管理体制構築への取組

鉄道・自動車・船舶の各運送事業における輸送の安全を確保するため、運輸安全マネジメント評価と事業者監査を安全施策の両輪として、安全・安心のさらなる推進に努めています。

### ◆運輸安全マネジメント評価

運送事業者が自主的かつ積極的に、自社の輸送の安全の取組を推進し、継続的に改善する安全管理体制を国が評価しています。このほか、運輸安全マネジメントセミナー等を実施し、運輸安全マネジメントの啓発を行っています。



## 陸上における安全確保

### ◆自動車運送事業

世界に誇る安全な輸送サービスの実現を目指し、事業者の安全意識の高揚を図り、安全運行の徹底に努めています。

#### ・運送事業者への監査・指導

輸送の安全確保に係る法令等の遵守状況を確認するため、運送事業者の営業所に立入監査等を実施しています。

法令違反が認められた場合には、事業適正化のための改善指導を行い、必要に応じて輸送施設の使用停止等の行政処分を行います。

#### ・運送事業者の安全性向上のための取組

行政、運送事業者及び利用者の安全トライアングルにより、事故の削減に取り組むため、運輸局が中核となり、安全プランを策定し、安全セミナー等の講習会開催や事故調査分析結果に基づく指導等を行います。

### ◆鉄軌道・索道事業

#### ・鉄軌道の設備の整備に関する補助

鉄道施設の耐震補強や、地域鉄道・軌道の設備の整備（レール、マクラギ等）など、安定輸送と事故防止に欠かせない施設の整備に補助金による支援を行っています。

#### ・鉄軌道・索道の完成検査

鉄道等の新設や大規模な改良工事があったときは、工事計画や技術基準等に問題がないか確認しています。

#### ・踏切道の安全対策

踏切道改良協議会において、鉄道事業者や道路管理者等と協議し、実情に応じた効果的な踏切道の安全対策を推進しています。また、踏切事故防止の啓発活動として、幼稚園児や小学生等に対し出前講座を、踏切道においては踏切事故防止のチラシを配布するなどの取組を推進しています。



自動車安全セミナー



踏切事故防止の出前講座

## ◆安全安心な車社会の実現

### ・自動車検査

自動車の安全性と環境性能を確保し、より安全な交通社会の実現を目指して、総合的な施策を進めています。

自動車は一定期間ごとに、安全・環境基準に適合しているか確認するため、国による検査を実施し、保安基準の適合性審査は独立行政法人自動車技術総合機構が担当しています。また、街頭車両検査を通じて不正改造車の排除や安全な使用に関する啓発活動も行っています。

### ・自動車整備事業

認証工場や指定工場の制度を整え、整備の質を確保するため、事業場への立入検査や研修などの指導・監督を実施しています。

加えて、交通事故防止に向けて、先進安全自動車（ASV）や デジタル式運行記録計・ドライブレコーダーの普及を促進し、導入補助を行っています。さらに、自動運転技術の実証実験を通じて、未来の安全な交通社会の実現に取り組んでいます。

## 海上における安全確保

### ◆知床遊覧船事故を踏まえた旅客船の安全・安心対策

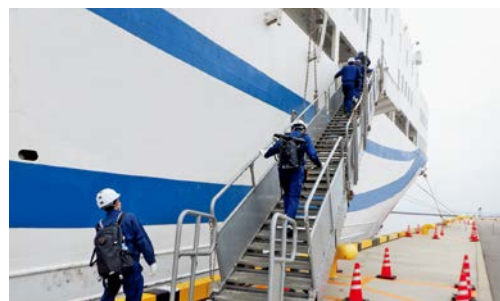
北海道知床で発生した遊覧船事故を受け、その安全対策として船舶の安全基準の強化、事業者の安全管理体制の強化を行っています。令和7年度からは新たに安全統括管理者・運航管理者に対する試験制度の創設や、人の運送をする不定期航路事業等を届出制から登録制へ移行するなど、一定の参入規制を行うことで、安全対策の徹底を図っています。



船舶への立入監査

### ◆船舶及び事業者への検査・監査

船舶のハード面として構造・設備等の定期的な検査と、ソフト面からは安全運航の確保のための事業者への立入監査という両輪の対応により安全性を確保しています。



外国船舶への立入検査

### ◆外国船舶の監督（PSC）

入港する外国船舶に立入し、船舶の構造・設備や乗組員の資格等が国際条約に適合しているかを確認する検査を行い、必要な場合は行政処分等を行っています。

## 災害対応

### ◆災害への対応

大規模災害発生時には、被災地への迅速な物資輸送を行うため、物資拠点となる倉庫の確保、運送事業者との調整を行います。また、地方公共団体からの物資輸送等の要請への対応、公共交通の運行（運航）調整などの支援も行っています。

### ◆リエゾン派遣や広域的な支援（TEC - FORCE）

災害発生時には、各県の災害対策本部や被災現場にリエゾンを派遣し、情報や要望の収集、情報の提供等支援を行います。また、管轄外の災害に際しては、被災地を管轄する運輸局や政府現地対策本部、被災自治体等へ職員を派遣しています。



運輸防災セミナー&ワークショップ

### ◆運送事業者への防災の取組の促進

運送事業は災害時でも事業継続が求められることから、運送事業者に対して、セミナー等を通じ、防災体制構築の普及・啓発に取り組んでいます。

# 地域公共交通の確保・活性化

中国地方は中山間地域や離島が多く存在し、また、全国に先行して人口減少・高齢化が進んでいることに加え、深刻な人手不足などにより、地域公共交通を取り巻く環境は大変厳しいものとなっています。さらに、バリアフリー化や環境対策などもこれまで以上に求められています。

このような状況で、中国運輸局では、地域公共交通の確保・活性化に向けた様々な支援・取組を行っています。

## 利便性・持続可能性の高い地域公共交通の実現

地域交通は買い物、医療、教育といった日常生活に不可欠なサービスを支えており、免許返納の進展やインバウンドの地方誘客の促進という観点からもその重要性が高まっています。一方で、人口減少により交通サービスの利用需要が減少し、運転者不足が深刻な状況にある中、路線の減便・廃止や交通事業者の経営の悪化が進んでいます。

中国運輸局では、地域公共交通に係る調査・計画策定から地域公共交通の導入・再編に係る実証・実装、人材不足の解消等に至るまで、様々な場面で伴走支援を行っています。

### ◆ローカル鉄道の再構築

鉄道は、これまで大量輸送機関としての役割を担ってきましたが、一部の区間では、人口減少やマイカーへの転移等により利用者が大幅に減少し、大変厳しい状況にあります。

中国運輸局は、岡山県と広島県とまたがるJR芸備線（特定区間：備中神代～備後庄原）について、令和6年3月、全国で初めて芸備線再構築協議会を開催し、議論を進めています。

令和5年に豪雨で被災したJR美祢線では、BRT（バス高速輸送システム）での復旧が決まり、その事業内容について協議されています。

JR木次線では、地域の移動実態に応じた持続的な交通体系について議論したいとJR西日本から関係自治体に申出がなされています。

中国地方では、利用状況の厳しいローカル鉄道が多く存在しますが、地域の関係者間で再構築に向けた議論が進むよう取り組んでまいります。



### ◆地域の多様な主体との連携・協働による共同化・協業化の推進

地域の公共交通の維持・確保が困難となる地域が増えていく中、従来の公共交通に限らず、地域の多様な主体による更なる連携・協働を通じて、共同化・協業化を進めていくことが必要です。

中国運輸局管内では、路線再編や運賃施策の検討、車両の共同調達など、自治体と複数のバス事業者が一体となってバス事業の再構築を進めている地域があります。また、観光施策等と連携した路線バスの利用促進や、再生可能エネルギーの売電収益を活用したAIデマンド乗合タクシーの運行を見据えた実証など、交通事業者以外の関係者との共同化による取組も進められています。

中国運輸局では、このような取組を支援することで、地域にとって持続可能な交通の実現を目指しています。



新広益線国道191号運行再開セレモニーの様子  
(広島県安芸太田町)

### ◆交通事業者の人材不足解消に向けた取組の推進

バス・タクシーなど公共交通の運転業務は、他産業に比べて労働時間等が長く高齢化が進んでいる傾向にあり、担い手が思うように集まらない乗務員不足への課題がありました。2024年に自動車運転者の長時間労働改善に向け労働法等関係法令が改正され、自動車運転業務の労働時間や拘束時間の規制強化や休息時間の向上等により、人手不足はより深刻化しています。

中国運輸局では、公共交通事業者が人材を安定的に確保するため、運賃改定による運転者の処遇や職場環境の改善を推進するとともに、二種免許取得費用への支援、また、陸上・海上・航空自衛隊と連携し、退職予定自衛官向けに業界で働くことの魅力を発信するため、職業体験会や就職相談会等の取組を行うことで、運転士等の人材確保への取組を進めています。

## 共生社会の実現に向けた取組とバリアフリー化の推進

男女共同参画基本計画に基づくジェンダー主流化に向けた取組とバリアフリー法の基本方針に基づくバリアフリー化の推進に取り組んでいます。

### ◆共生社会の実現に向けた取組

「男女共同参画基本計画」では、ジェンダー平等及びジェンダーの視点をあらゆる施策に反映することや、様々な場面における意思決定過程への女性の参画を推進することが盛り込まれています。

また、「地方創生2.0基本構想」では、「若者・女性にも選ばれる地域」の実現に向けて、安心して働き、暮らすことができる生活環境の創生を進めることとされています。

このため、ジェンダー主流化に関する社会の機運醸成を図り、必要な知見を蓄積することを目的として、各事業分野で活躍する女性の経営者・幹部をお招きしてジェンダー主流化に関する座談会を開催しました。



ジェンダー主流化の取組に関する座談会

### ◆障害の社会モデルと心のバリアフリーに係る取組の推進

全ての方が高齢者や障害者等の立場を理解して行動ができる共生社会の実現のため、「障害の社会モデル(※1)」と「心のバリアフリー(※2)」の推進に取り組んでいます。

その一環として、障害当事者の方にも参加いただいて、様々な年代を対象としたバリアフリー教室の開催などの啓発活動に取り組んでいます。



小学生向けバリアフリー教室



路面電車のバリアフリー点検

※1 障害の社会モデル……障害は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、その障壁を取り除くのは社会の責務であるとの考え方

※2 心のバリアフリー……様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと

## 交通DX・交通GXの推進

交通事業者の人手不足対策や生産性向上、カーボンニュートラル実現に向けた公共交通の脱炭素化を進めるため、自動運転・MaaS・AIオンデマンド交通などの「交通DX」(デジタル・トランスフォーメーション)や、車両のEV化などの「交通GX」(グリーン・トランスフォーメーション)の新技術を用いた取組を推進しています。

### ◆自動運転・MaaS・AIオンデマンド交通・キャッシュレス化等の普及促進

自動運転や、AIによりリアルタイムで最適な配車を行うAIオンデマンド交通、複数の交通サービスを一元的に提供するMaaSアプリ、ICカードやQRコード・タッチ決済、顔認証等のキャッシュレス決済の導入など、AI・デジタル技術を用いた取組は、深刻化する人手不足の解決や利便性の向上による利用者の増加につながることを期待されています。

中国運輸局管内でも、将来的なレベル4自動運転(特定条件下における完全自動運転)を目指した実証実験や、AIオンデマンド交通、MaaSアプリ等の導入が進められており、中国運輸局では、このような取組を支援しています。



AIオンデマンド交通の導入実証(山口県下関市)



MaaSアプリを活用した二次交通・観光案内の改善(山口県山口市)

### ◆EV車両・グリーンスローモビリティの普及促進

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、中国運輸局では、環境負荷の小さいモビリティの導入支援を行っています。

近年、EV車両の導入が徐々に広がっていますが、脱炭素化や環境保全に加えて、燃料費等の高騰対策にも資することが期待されています。また、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービスであるグリーンスローモビリティは、高齢者の移動手段の確保や観光客の周遊に活用されています。



EVバスの導入(広島県広島市)

人口減少が進む我が国において、交流人口拡大や旅行消費を生み出す観光は、成長戦略の柱、地域活性化の切り札として期待されている重要な分野です。2025年の年間訪日外国人旅行者数は、約4,300万人となり、過去最高を記録しました。2026年は広島市の原爆ドーム及び廿日市市の厳島神社が日本の世界遺産登録から30年の節目を迎え、多くの観光客が中国地方を訪れることが期待されます。中国運輸局では、オーバーツーリズムの未然防止・抑制に取り組む一方で、地域と連携して中国地方が誇る観光資源を活用し、地域の魅力を向上させることにより、中国地方への誘客・消費の拡大を加速させます。

## 新たな観光資源の掘り起こし

インバウンドの宿泊先は都市部へ偏在していることなどから、持続的に地方誘客が促進されるよう、地域資源を活用した収益性が高く独自性・新規性のある観光コンテンツの開発から、適切な販路開拓や情報発信の総合的な支援を行い、中長期に亘って販売可能なビジネスモデルづくりの支援を行っています。具体的には、検討会や現地視察などを通じて、コンテンツ造成にあたっての必要な助言を行うなどの伴走支援を実施しています。



神社の元宮で行われる石見神楽の特別体験(島根県津和野町)



秋芳洞未公開ゾーンでの洞窟探検(山口県美祢市)

## 訪日プロモーションの実施

令和7年度から広域連携DMOと協力し、JNTOが実施する訪日プロモーション事業の1つである「広域連携プロモーション事業」への協力・事業計画の提案等を行っています。

本事業では旅行会社又はインフルエンサー等を各地域へ招請する「招請事業」と対象市場にて地域を紹介する記事広告を展開する「記事広告事業」の2種類の取組を実施しています。本事業を通じて管内の自治体及び観光関係団体との連携を深め、管内の魅力的な観光資源の情報収集、広域的な視点を踏まえたプロモーション計画案の策定に取り組んでまいります。



記事広告事業の様子(広島県呉市倉橋町桂浜海岸)

## 中国地方観光振興アワード

中国運輸局は、「中国地方観光振興アワード」として、中国地方における観光振興への功績が顕著な団体又は個人を対象とした表彰を行うことなどにより、地域の観光振興の活動を支援しています。令和7年度は、長年にわたり「着物ウィークin萩」の運営に尽力された『「着物ウィークin萩」実行委員会』及び学生たちが独自に企画したイベント等を通じて長門市の新たな魅力や賑わいを創出している『山口県立大津緑洋高等学校「大津STEAMプロジェクト」』を表彰しました。



「着物ウィークin萩」実行委員会



山口県立大津緑洋高等学校「大津STEAMプロジェクト」

## 観光ガイド人材の育成

インバウンドは拡大を続けていますが、その一方で、旅行者へ質の高い体験を提供するためのガイド人材の不足及び高齢化が課題となっています。こうした状況を踏まえ、大学生など若年層を含む幅広い年代の方に向けて、ガイドという仕事の魅力を伝えるセミナーを開催し、また「ガイドとして活動したい」と考える方々を対象にした実践的な研修を実施しています。さらに、一般企業に対してガイドの公的な資格である通訳案内士の活動内容や魅力を伝えるパンフレットを作成するなど、通訳案内士の認知度向上を図る取組をしています。



当局職員による講演(左) / 通訳案内士による講演(中) / ガイド研修(右)

## 持続可能な観光地域づくりへの取組

観光需要が好調である一方で、一部の地域や時間帯によっては、観光地の過度な混雑や観光客のマナー違反により、地域住民の生活への影響や観光満足度の低下が問題視されています。オーバーツーリズムの未然防止・抑制は、観光客の受入れと住民の生活の質の確保を両立し、持続可能な観光地域づくりを実現するために重要な取組です。松江市では、松江城最寄りの駐車場に観光客が集中し、付近で渋滞が発生している状況を受け、駐車場ガイドマップの改訂やWebでの店舗情報の充実等により観光客が周遊する仕組みを構築し、観光需要の分散化に取り組んでいます。

また、広島市では、観光客による公共交通機関の利用、乗車マナーについて、地域住民から自治体や事業者意見が寄せられている現状を受け、観光庁が作成した「観光ピクトグラム」を用いたチラシやステッカーを配布、掲出することで、マナー啓発に取り組んでいます。



松江城周辺の渋滞状況



割り込み禁止



線路への立入り禁止



荷物を預けて手ぶらで観光しよう

観光ピクトグラムの活用

## せとうちサイクルーズPASS

瀬戸内には、国内外から多くのサイクリストが訪れることから、サイクリングとクルージングを一緒に楽しんでもらえるよう、定期航路の旅客と自転車の運賃をセットで割引く「せとうちサイクルーズPASS」の取組を、広島・山口・愛媛・兵庫・岡山・香川エリアで実施しています。



フェリーを利用するサイクリスト

[詳細はこちら]



中国旅客船協会

# 地域経済を支える産業振興

中国地方の地域経済を支える各種産業の発展のため、所管業界の地域振興を行っています。

## 造船・船用工業の振興

四方を海に囲まれ、エネルギーや食料などの自給率が低い我が国では、貿易量の99.6%を担う海上輸送は国民生活・経済活動を支える不可欠なインフラです。海上輸送に必要な船舶を供給する造船業は、経済安全保障上も極めて重要ですが、中国・韓国との厳しい競争の中で日本の建造量は減少傾向にあります。

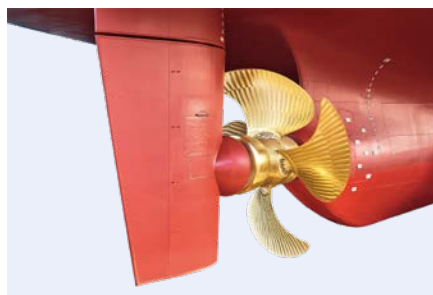
こうした状況を踏まえ、政府は成長戦略分野の一つに「造船業」を位置付け、危機管理投資や成長投資を通じて産業の再生・強化を進めています。また、2025年に策定された「造船業再生ロードマップ」に基づき、建造体制の強靱化や人材確保・育成に向けた支援を行っています。

瀬戸内地域には海運業、造船・船用工業、港湾運送業など多様な海事産業が集積していますが、中でも、造船・船用工業は、我が国でも有数の海事クラスターを形成しており、経済と雇用を支える中核的な役割を担っています。

中国運輸局管内の造船業は国内建造量の21.6%、修繕実績の33.4%を占め、船用エンジン・プロペラ・貨物油ポンプ等で世界的に高いシェアを有する企業も立地しています。中国運輸局では、人材確保・育成に向けた取組など、造船・船用工業の持続的発展に向けて引き続き取り組んでいきます。



進水式



船用プロペラ  
(画像提供：ナカシマプロペラ株)



船用エンジン  
(画像提供：株アイメックス)

## 人材の確保・育成の推進

造船・船用工業のほか、バス、タクシー、トラック、自動車整備、鉄道、海運、港湾運送、倉庫、宿泊業等の運輸・観光産業が地域の経済や雇用に大きく貢献しています。しかしながら、少子高齢化・人口減少やコロナ禍に伴う離職等により、人手不足が運輸・観光産業共通の課題となっており、中国運輸局では人材確保に向け、様々な取組を行っています。

### ◆海事人材の確保

船員や造船・船用工業、港湾運送等の海事関係産業の人材確保・育成のため、就職期をひかえた水産高校や工業高校の生徒等に対し、船員就職セミナーやインターンシップ等の実施や造船所・船用工業の施設見学会等の開催など、海事産業を職業選択のひとつとして考えてもらう取組を行っています。

また、各造船所の若手社員を対象に、造船に関する技術・知識向上のため、業界主催の技術者研修会や因島技術センターへ職員を派遣し、造船業の現状や海事法規等に関する講演等を行っています。

### ◆海と船の魅力と楽しさを伝える取組

海事産業に親しみを持ってもらい、将来海事産業を目指す人材のすそ野を広げるための取組として、小学生からその保護者に至るまでのあらゆる年齢層を対象に『C to Seaプロジェクト』として「海に行く」・「船に乗る」・「海を知る」につながる出前講座や体験航海を実施するとともに、様々なイベントへの出展や情報発信などの取組を行っています。



水産高校生向け就職セミナー



職員が発案・手作りの  
海事産業PR用の「お守りタイプ 啓発グッズ」



C to Seaプロジェクトでのイベント  
(段ボールで作った船に乗る子供たち)

### ◆トラック輸送分野の人材確保

2030年の輸送力不足見込みを乗り越えていくため、政府では、外国人ドライバーの活用に向けた特定技能評価試験の実施やラストワンマイル輸送におけるドライバー確保に向けたドライバーシェアの検討などを行っており、中国運輸局でも退職予定自衛官の就労先としてのトラック事業の情報提供や、運転者募集イベントの開催などの周知に努めています。



運転者確保のための  
物流企業合同説明会の開催

### ◆自動車整備事業分野の人材確保

自動車整備人材の確保・育成は、安全な車社会を支える重要な課題です。このため、運輸局では自動車整備人材確保・育成推進協議会と連携し、自動車整備士の仕事や魅力を広く発信し、人材確保・育成に向けた取組を総合的に進めています。

主な取組として、若者へ自動車整備士のやりがいや将来性等の魅力をPRする高校訪問や、小学生がEV車を組み立てる「きっずメカニックフェスタ」等子ども向け体験イベントを開催し、小学生等に整備士の仕事の大切さを周知しています。

これらの取組を通じて、若年層から整備業界への関心を高め、将来にわたって安全・安心な車社会を支える人材の確保を目指しています。



きっずメカニックフェスタにおける  
EV車の組立体験

### ◆鉄道分野の人材確保

鉄道・軌道業界の人材確保に向け、鉄道運転士の受験資格年齢制限の見直しを行い、また、自動運転の導入や外国人材活用などの検討が進められており、中国運輸局においても、人材確保に関する有益な取組事例等の情報を鉄道事業者と共有したり、児童を対象として、鉄軌道の仕事を紹介する取組を実施しています。



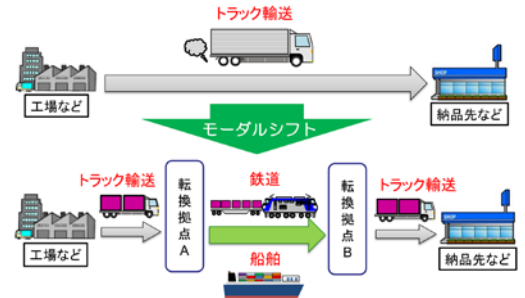
こどもおしごと体験イベントに  
おける鉄道運転士体験

## 物流における環境対策

政府は「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」としており、環境に配慮しながら産業振興を図ることが求められています。

### ◆新モーダルシフトの推進

モーダルシフトは環境対策であるとともに、トラックの輸送能力不足軽減にも寄与することができます。令和5年10月に関係閣僚会議で策定された「物流革新緊急パッケージ」では、「鉄道、内航海運の輸送量・輸送分担率を今後10年程度で倍増させる」目標が掲げられています。



中国運輸局では、この目標達成に向け、荷主・物流事業者間の連携によるモーダルシフトの計画策定や運行を支援しているほか、コンテナや荷役機器等の設備・機器の導入に対する支援も行っています。また、令和6年11月にとりまとめられた「新たなモーダルシフトに向けた対応方策」を踏まえ、陸・海・空のあらゆる輸送モードを総動員した各種施策にも取り組むこととしています。

### 【陸・海・空の輸送モードを総動員した新モーダルシフト等の推進】



鉄道・内航海運への  
モーダルシフトの強化



新幹線等の客貨混載



航空機の空きスペース等の  
有効活用



ダブル連結トラックを活用  
した共同輸送や中継輸送

### ◆物流における脱炭素化の推進

EVトラックや水素を燃料とした燃料電池（FCV）トラック等、環境に配慮した車両の導入を支援して、物流における脱炭素化を推進します。1台で通常トラック2台分の輸送が可能な連結トラックでは、燃料消費量・CO<sub>2</sub>排出量も約4割削減となります。

また、物流施設における太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用を通じて脱炭素化を推進し、持続可能な物流の実現に取り組んでいきます。



FCV（燃料電池）トラック



## 中国運輸局（本局）

〒730-8544

広島市中区上八丁堀6-30

広島合同庁舎4号館

中国運輸局 WEB ページ



X



中国運輸局リクルート WEB ページ



ユーチューブ



インスタグラム



|                    |                  |
|--------------------|------------------|
| <b>総務部 (4F南)</b>   |                  |
| 総務課                | TEL:082-228-3434 |
| 広報対策官              |                  |
| 人事課                | TEL:082-228-3542 |
| 会計課                | TEL:082-228-3435 |
| 安全防災・危機管理課         | TEL:082-228-3439 |
| <b>交通政策部 (4F北)</b> |                  |
| 交通企画課              | TEL:082-228-3495 |
| 環境・物流課             | TEL:082-228-3496 |
| 共生社会推進課            | TEL:082-228-3499 |
| <b>観光部 (4F南)</b>   |                  |
| 観光企画課              | TEL:082-228-8701 |
| 国際観光課              | TEL:082-228-8702 |
| 観光地域振興課            | TEL:082-228-8703 |

|                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| <b>鉄道部 (3F南)</b>      |                  |
| 計画課                   | TEL:082-228-8797 |
| 技術・防災課                | TEL:082-228-8798 |
| 安全指導課                 | TEL:082-228-8799 |
| 鉄道安全監査官               | TEL:082-228-8796 |
| <b>自動車交通部 (4F北)</b>   |                  |
| 旅客第一課                 | TEL:082-228-3436 |
| 旅客第二課                 | TEL:082-228-3450 |
| 貨物課                   | TEL:082-228-3438 |
| 自動車監査官                | TEL:082-228-3460 |
| <b>自動車技術安全部 (5F北)</b> |                  |
| 管理課                   | TEL:082-228-9141 |
| 整備・保安課                | TEL:082-228-9142 |
| 技術課                   | TEL:082-228-9143 |
| 保安・環境調整官              | TEL:082-228-9144 |

|                      |                  |
|----------------------|------------------|
| <b>海事振興部 (3F南)</b>   |                  |
| 離島航路活性化調整官           | TEL:082-228-3679 |
| 旅客課                  |                  |
| 貨物・港運課               | TEL:082-228-3690 |
| 船舶産業課                | TEL:082-228-3691 |
| 船員労政課                | TEL:082-228-3692 |
| <b>海上安全環境部 (3F北)</b> |                  |
| 海事保安・事故対策調整官         | TEL:082-228-8794 |
| 船舶安全環境課              |                  |
| 船員労働環境・海技資格課         | TEL:082-228-8707 |
| 運輸労務監理官              | TEL:082-228-8708 |
| 船舶検査官                | TEL:082-228-8709 |
| 船舶測度官                | TEL:082-228-8710 |
| 海技試験官                | TEL:082-228-8711 |
| 外国船舶監督官              | TEL:082-228-8712 |

|   |                   |
|---|-------------------|
| <b>広島運輸支局 〒733-0036 広島市西区観音新町4丁目13-13-2</b>       |                   |
| 総務企画・観光   | TEL:082-233-9166  |
| 輸送・監査   | TEL:082-233-9167  |
| 登録  | TEL:050-5540-2068 |
| 整備 (検査担当)   | TEL:082-233-9160  |
| 整備 (事業、保安担当)                                      | TEL:082-233-9169  |
| <b>福山自動車検査登録事務所 〒729-0115 福山市南今津町44</b>           |                   |
| 登録  | TEL:050-5540-2069 |
| 検査  | TEL:084-934-1334  |
| <b>尾道海事事務所 〒722-0002 尾道市古浜町27-13 (尾道地方合同庁舎3階)</b> |                   |
| 運航、船員、船舶、検査                                       | TEL:0848-23-5235  |
| <b>因島海事事務所 〒722-2323 尾道市因島土生町1899-35</b>          |                   |
| 運航、船員、船舶、検査                                       | TEL:0845-22-2298  |
| <b>呉海事事務所 〒737-0029 呉市宝町9-25 (呉港湾合同庁舎2階)</b>      |                   |
| 運航、船員、船舶、検査                                       | TEL:0823-22-2520  |
| <b>鳥取運輸支局 (本庁舎) 〒680-0006 鳥取市丸山町224</b>           |                   |
| 総務企画・観光   | TEL:0857-22-4154  |
| 輸送・監査   | TEL:0857-22-4120  |
| 登録  | TEL:050-5540-2070 |
| 整備  | TEL:0857-22-4110  |
| (境庁舎) 〒684-0034 境港市昭和町9-1 (境港港湾合同庁舎2階)            |                   |
| 運航、船員、船舶、検査                                       | TEL:0859-42-2169  |

|  |                   |
|--|-------------------|
| <b>島根運輸支局 〒690-0024 松江市馬潟町43-3</b>                 |                   |
| 総務企画・観光  | TEL:0852-38-8111  |
| 運航、船員、船舶、検査  |                   |
| 輸送・監査  | TEL:0852-37-1311  |
| 登録   | TEL:050-5540-2071 |
| 整備   | TEL:0852-37-2138  |
| <b>岡山運輸支局 (本庁舎) 〒701-1133 岡山市北区富吉5301-5</b>        |                   |
| 総務企画・観光  | TEL:086-286-8121  |
| 輸送・監査  | TEL:086-286-8122  |
| 登録   | TEL:050-5540-2072 |
| 整備 (検査担当)  | TEL:086-286-8153  |
| 整備 (事業、保安担当)                                       | TEL:086-286-8155  |
| (玉野庁舎) 〒706-0011 玉野市宇野1丁目8-2 (玉野港湾合同庁舎2階)          |                   |
| 運航、船員、船舶、検査  | TEL:0863-31-4266  |
| <b>水島海事事務所 〒712-8056 倉敷市水島福崎町2-15 (水島港湾合同庁舎4階)</b> |                   |
| 運航、船員、船舶   | TEL:086-444-7750  |
| <b>山口運輸支局 (本庁舎) 〒753-0812 山口市宝町1-8</b>             |                   |
| 総務企画・観光  | TEL:083-922-5335  |
| 輸送・監査  | TEL:083-922-5336  |
| 登録   | TEL:050-5540-2073 |
| 整備 (検査担当)  | TEL:083-922-5397  |
| 整備 (事業、保安担当)                                       | TEL:083-922-5398  |
| (徳山庁舎) 〒745-0045 周南市徳山港町6-35 (徳山港湾合同庁舎3階)          |                   |
| 運航、船員、船舶、検査  | TEL:0834-21-0180  |